

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公開番号】特開2020-44396(P2020-44396A)

【公開日】令和2年3月26日(2020.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2020-012

【出願番号】特願2019-229809(P2019-229809)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月13日(2020.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果が当りである場合に、通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

所定の演出情報を表示可能な演出表示手段と、

前記抽選の結果に基づいて前記演出表示手段を表示制御して変動演出を実行する表示制御手段と、

前記演出表示手段に表示される前記変動演出に関連して音出力手段から所定の演出音を出力させる制御を行う音出力制御手段と、

操作手段の操作に基づいて前記音出力手段から出力される演出音の音量を調節可能な音量調節手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記所定の演出情報として特定の演出情報を前記変動演出中の特定期間に亘って表示させることが可能であり、

前記特定期間では前記演出音の音量が抑制され、該特定期間において、前記音量調節手段は、前記演出音の音量が抑制されている中で前記操作手段の操作を受け付けて前記演出音の音量を調節可能とするものの該調節された音量の前記演出音を前記特定期間の経過後に聴取可能とし、

前記特定期間と異なり前記変動演出中の前記演出音の音量が抑制されない非特定期間において、前記音量調節手段は、前記演出音の音量が抑制されていない中で前記操作手段の操作を受け付けて前記演出音の音量を調節可能とするとともに該調節された音量の前記演出音を当該調節タイミングで聴取可能とし、

前記演出音の音量が抑制されている中で前記操作手段の操作を受け付けて前記演出音の音量を調節可能とされる前記特定期間が発生される場合は、該特定期間が発生されない場合に比べて前記抽選の結果が当りとなる割合が高い

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0006】**

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、所定の始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果が当りである場合に、通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態に制御可能な遊技機であって、

所定の演出情報を表示可能な演出表示手段と、

前記抽選の結果に基づいて前記演出表示手段を表示制御して変動演出を実行する表示制御手段と、

前記演出表示手段に表示される前記変動演出に関連して音出力手段から所定の演出音を出力させる制御を行う音出力制御手段と、

操作手段の操作に基づいて前記音出力手段から出力される演出音の音量を調節可能な音量調節手段と、を備え、

前記表示制御手段は、前記所定の演出情報として特定の演出情報を前記変動演出中の特定期間に亘って表示させることが可能であり、

前記特定期間では前記演出音の音量が抑制され、該特定期間ににおいて、前記音量調節手段は、前記演出音の音量が抑制されている中で前記操作手段の操作を受け付けて前記演出音の音量を調節可能とするものの該調節された音量の前記演出音を前記特定期間の経過後に聴取可能とし、

前記特定期間と異なり前記変動演出中の前記演出音の音量が抑制されない非特定期間ににおいて、前記音量調節手段は、前記演出音の音量が抑制されていない中で前記操作手段の操作を受け付けて前記演出音の音量を調節可能とするとともに該調節された音量の前記演出音を当該調節タイミングで聴取可能とし、

前記演出音の音量が抑制されている中で前記操作手段の操作を受け付けて前記演出音の音量を調節可能とされる前記特定期間が発生される場合は、該特定期間が発生されない場合に比べて前記抽選の結果が当りとなる割合が高い

ことを特徴とする。